



**和いいネ!**  
いまの時代、自分からアピールしなまっ!  
福井市

↑ **議場コンサートを開催**

令和4年11月28日に、市民の皆様様に議會を身近に感じていただくとともに、コロナ禍の終息を願い、議場コンサートを開催しました。  
福井県内で活動するグループ「Courant d'air(クランデール)」の皆様をお招きして、フルート三重奏をご披露いただきました。

**特集記事**

- 福井市・結城市友好都市提携20周年記念事業…………… 2ページ
- 委員会県外視察報告…………… 2～4ページ
- 議会傍聴席をイラストで紹介「議会を見に来て下さいネ!」…………… 5ページ

**議員25人が一般質問を行いました**

詳細は8～13ページ

**委員会審査**

詳細は7～8ページ

**議員提出の議案1件を審議しました**

議案は6ページ  
審議結果は14～15ページ

**請願2件、陳情2件を審議しました**

審議結果は15ページ

**市長提出の議案32件、報告5件を審議しました**

主な議案は6～7ページ  
審議結果は14～15ページ

**12月 定例会**

(11月28日～12月15日)



## 福井市・結城市友好都市提携20周年記念事業 議員団10名が茨城県結城市を訪問

日程：令和4年10月28日(金)～29日(土)

訪問初日は、結城市議会の早瀬議長及び結城市の小林市長を表敬し、提携から20年の節目を迎えたことで、これまでの交流の経過や、今後のさらなる交流促進について意見交換を行いました。表敬後は、日本最古の歴史を持ち、国内最高級の絹織物として知られる結城紬の着付けを体験しました。結城紬は、その伝統技法が国の重要無形文化財に指定され、また、ユネスコの無形文化遺産にも登録されています。このような伝統文化、産業を後世に伝承していくためには、官民が一体となって取り組む必要があると強く感じました。

翌日の市内視察では、結城秀康公ゆかりの寺院である「孝顕寺」や酒蔵、結城紬のミュージアムなどを訪問し、説明を受けました。その後、「祭りゆづき2022」の開会式に参列し、祭りの様子や本市が出展したPRブースを見学しました。

今回の訪問では、結城市との歴史的なつながりや伝統文化、産業などに触れる機会をいただき、また意見交換会を通じて、両市議会の友好の絆がより深まったと実感しました。今後も両市の結びつきをより強固なものとするため、さらに交流の輪を広げていくことが重要であると考えております。



結城市議会 議長表敬



結城紬の着付け体験

## 委員会県外視察報告

福井の魅力発信対策特別委員会と常任委員会の県外視察の報告を掲載します。  
(視察日順)

### 福井の魅力 発信対策 特別委員会

日程：令和4年8月25日(木)～26日(金)  
視察先：兵庫県朝来市、養父市

「但馬日下部氏を祖とする越前朝倉氏について」

兵庫県豊岡市

「豊岡市大交流ビジョンの概要と取組」について

福井の魅力発信対策特別委員会は、兵庫県朝来市、養父市、豊岡市に伺ったほか、朝来市赤淵神社、養父市朝倉城跡を現地視察しました。

朝来市では、日下部氏の祖先が天皇であった可能性や、越前朝倉氏の祖を日下部高景とする説を伺いました。朝倉氏が由緒ある名家であったことは、福井の魅力発信に活用していくべき情報です。

養父市では、朝倉城跡のある八鹿町朝倉区を訪れ、同地の特産品「朝倉山椒」の発祥地であり、現在もイタリアなどに輸出していることを学びました。

豊岡市では、「豊岡市大交流ビジョン」で、観光を交流と捉え直した政策を進めており、同市に縁がある全国の著名人らと市民が豊岡の魅力について語り合う「豊岡市ファンミーティング」を実施しています。交流人口の拡大に資する魅力的な事業であり、北陸新幹線福井開業を控えた本市でも、大いに参考としたい事例でした。



兵庫県朝来市



兵庫県養父市の朝倉城跡を現地視察



## 経済企業 委員会

日程 令和4年10月6日(木)～7日(金)  
視察先 岡山県岡山市

「日本遺産活用推進事業について」

香川県小豆島町

「オリーブ事業について」

経済企業委員会は、岡山県岡山市、香川県小豆島町を視察訪問しました。

岡山市では、日本遺産に認定されている古代吉備の遺産群を舞台とした桃太郎伝説のストーリー及び構成文化財を活用して国内外に魅力を発信する『日本遺産活用推進事業』を実施しています。中でも人気ゲーム「桃太郎電鉄」とのコラボ事業は、スマホを利用したクイズラリーとなっていて、同市中心部に点在する歴史案内看板に記された二次元コードを読み取りながら次々と目的地を巡り、ゴールの岡山城を目指すもので、日本遺産に認定されている本市の一乗谷朝倉氏遺跡等にも活かせる先行事例でした。

小豆島町では、100年以上にわたるオリーブ栽培の実績があり、日本におけるオリーブ栽培でオンリーワンのブランドを確立しています。今回は、『小豆島オリーブトップワンプロジェクト』について学びましたが、農家や事業者への支援、生産から販路拡大までの手法など、同町とは歴史も規模も異なる本市三里浜のオリーブ栽培でも参考となる取組であり、有意義な視察となりました。



岡山県岡山市



香川県小豆島町

## 教育民生 委員会

日程 令和4年10月6日(木)～7日(金)  
視察先 兵庫県高砂市

「東播磨海広域クリーンセンター「エコクリーンピアはりま」について」

大分県別府市

「障がい者自立支援について」

教育民生委員会は、兵庫県高砂市、大分県別府市を視察訪問しました。

高砂市の「エコクリーンピアはりま」は、本市で整備中の新クリーンセンターで採用する焼却炉と同様の設備を導入した最新のごみ処理施設です。令和4年6月から本格稼働を開始していますが、当初のスケジュールから完成が遅延した経緯があります。今回の視察では、その原因となったトラブルへの対応など、各種リスクの管理手法について説明を受けたほか、焼却の熱エネルギーを用いた発電や、施設の長寿命化への取組、環境学習が可能な啓発施設の併設など、様々な内容を伺うことができました。

別府市「太陽の家」は、障がい者相談支援センターやスポーツ施設など様々な機能を持つ施設です。特に、障がい者就労施設の面では、三菱商事株式会社など大手民間企業と共同出資会社を設立して、多くの障がい者の雇用を実現しており、障がい者と社会をつなぐものとして全国的に高い評価を得られているとのことでした。

これら施設の先進事例を、本市新クリーンセンターの整備や、福祉行政政策の参考としていきたいと感じました。



兵庫県高砂市



大分県別府市



## 総務委員会

日程 令和4年10月11日(火)～12日(水)  
視察先 山梨県富士吉田市

「ふるさと納税について」  
神奈川県小田原市  
「小田原市SDGs体感事業『おだちん』について」

総務委員会は、山梨県富士吉田市、神奈川県小田原市を視察訪問しました。

富士吉田市のふるさと納税は、年々納税額の推移が上昇しており、昨年度は納税額約72億円で全国9位となっていることから、今回の視察先として選定しました。

同市の基幹産業である繊維を利用した高価な羽毛布団が、納税者の人気を牽引しており、リピーターを増やすために、返礼品を送るだけでなく付加価値を付けることを企図し、小中高校生も参画するまちおこしを兼ねた施策としていることが印象的でした。

小田原市は、まち独自のコイン『おだちん』（デジタルコミュニティ通貨）を発行しています。地域のお店や企業・団体が「加盟スポット」となり、オリジナルチケットを作成し、人と人、地域と人がつながるイベントにてコインを流通させて、地域交流の輪を広げているとのことでした。

両市ともに、今後の市政運営の参考としたい事例でした。



山梨県富士吉田市



神奈川県小田原市

## 建設委員会

日程 令和4年10月12日(水)～13日(木)  
視察先 岡山県倉敷市

「真備緊急治水対策プロジェクトについて」  
広島県広島市  
「広島駅南口再開発事業について」

建設委員会は、岡山県倉敷市、広島県広島市を視察訪問しました。

岡山県に戦後最大級の被害をもたらした2018年7月の西日本豪雨により、倉敷市真備町では、小田川支川を含む8箇所で堤防が決壊し、被害浸水面積約1,200ヘクタール、浸水戸数約4,600棟の甚大な被害がもたらされました。

この被害で明らかになった様々な課題に対応するため、現在、国、県、倉敷市の3者が行動計画に基づいて、「真備緊急治水対策プロジェクト」を策定し、5か年計画で防災・減災の取組を進めています。

広島駅南口は、社会活動の高度化と消費者ニーズの多様化等の環境変化から取り残され、老朽化した家屋が密集した多くの課題のある地域であったため、広島市の陸の玄関にふさわしい地区に再生しようと組合施行による市街地再開発事業が実施されました。また、この地区は愛友市場として市民に親しまれていたことから、市場の雰囲気を残したエリアを形成し、昔ながらの店舗も残されています。

近年、激甚化する自然災害等への対応や、本市の中心市街地再開発のため、両市ともに、大変参考となる取組でした。



岡山県倉敷市

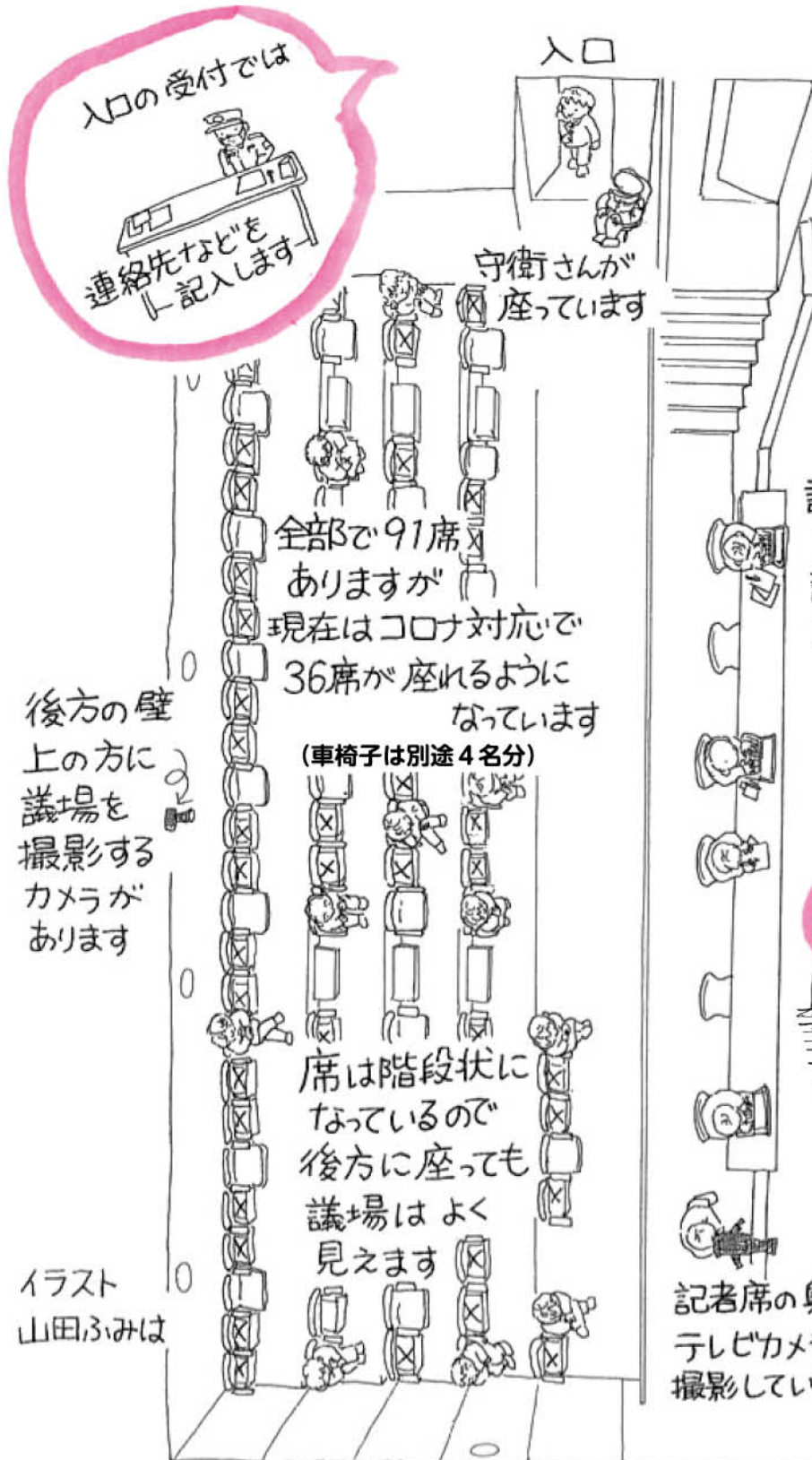


広島県広島市

# 議会傍聴席をイラストで紹介



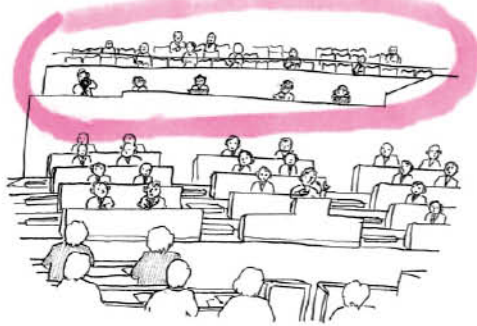
# 議会を見に来て下さいね!



- 市役所8階の議場入口で、会議開会の30分前から傍聴を受け付けています。
- 入場の際は、入口の受付簿に、氏名・住所など必要事項の記入をお願いしています。

記者席では  
マスコミの  
記者さんが  
取材して  
います

↓ 議場から見ると、この辺りです



記者席の奥では  
テレビカメラが  
撮影しています



# 主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、14、15ページに掲載しています。

## 各会計決算の認定

9月定例会において決算特別委員会に付託され、継続審査となっていた令和3年度各会計（一般・特別・企業）決算の認定等について審査するため、10月3日、4日の2日間、決算特別委員会を開催しました。審査の結果、付託された各会

計決算の認定等について、いずれも原案どおり可決及び認定しました。

なお、各会計の決算剰余金（収支の差額）は、令和4年度に繰越すとともに、今回の補正予算において、その一部を財政調整基金やその他基金への積立て、市債の繰上げ償還などに充てています。

## 令和3年度 一般会計・特別会計決算総括表

(単位：円)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額
<b>一般会計</b>	129,714,635,633	125,637,015,287
国民健康保険	23,232,405,185	22,167,238,266
国民健康保険診療所	1,246,110	1,131,037
後期高齢者医療	3,886,611,431	3,882,637,081
介護保険	26,494,024,959	25,871,722,793
母子父子寡婦福祉資金貸付	17,251,277	15,199
<b>特別会計</b>		
競輪	20,274,259,001	19,877,393,625
宅地造成	361,504,376	154,950,048
中央卸売市場	707,018,670	706,936,873
駐車場	56,733,104	55,323,758
集落排水	805,087,594	805,015,378
地域生活排水	158,773,075	158,577,100
<b>合計</b>	<b>205,709,550,415</b>	<b>199,317,956,445</b>

## 令和3年度 企業会計決算総括表

(単位：円)

会計	区分	収入	支出	収支
水道事業	収益的収支	5,367,008,929	4,167,842,299	1,199,166,630
	資本的収支	1,063,240,239	3,566,283,972	△ 2,503,043,733
簡易水道事業	収益的収支	260,038,224	259,648,289	389,935
	資本的収支	238,614,542	303,313,896	△ 64,699,354
下水道事業	収益的収支	9,827,043,828	8,555,841,285	1,271,202,543
	資本的収支	6,855,663,813	9,113,762,776	△ 2,258,098,963

●収益的収支：(料金収入等) - (サービスの提供に必要な経費等)  
 ●資本的収支：(企業債等) - (建設改良費や企業債元金償還金等)  
 ●各企業会計の資本的収支における不足額は、消費税資本的収支調整額や損益勘定留保資金などで補っています。  
 ●消費税を含む金額です。

## 令和4年度補正予算

今回の補正予算は、原油価格・物価高騰への対応に関する事業等の実施や職員給与等との改定などにより、一般会計で39億819万円を増額、特別会計で31億1,350万7千円を増額、企業会計で5,865万8千円を増額するものです。

補正後の各会計の予算額は、一般会計で1,327億6,434万5千円、特別会計で786億6,190万6千円、

企業会計で300億1,665万8千円となり、全会計で2,414億4,290万9千円となります。

### ○主要事業

**I 原油価格・物価高騰への対応に関する事業**  
 ……8億704万円

**福井市子育て世帯応援給付金事業**  
 市独自の給付金として、高校生(18歳)以下の子を持つ世帯(約2万4千世帯)を対象に5千円を支給する。


**II 新型コロナウイルス感染症対応等に関する事業**  
 ……4億5,026万6千円  
**避難所感染症対策備蓄品整備事業**  
 災害が発生した場合に備え、避難所等の感染症対策に必要な物資を備蓄する。

**III 国・県の補助金等に伴う事業**  
 ……1億2,756万6千円  
**地域介護福祉空間整備等補助事業**  
 介護施設等が行う、土砂災害等に備えた施設の一部改修に対する支援を行う。

**IV その他の事業**  
 ……56億9,548万3千円

### ふくこ応援事業

妊婦や出生児の養育者を対象に、妊娠時と出産後に各5万円を給付する。 ほか

※補正予算の概要については、市財政課のホームページをご覧ください。  


## 条例

**○福井市手数料徴収条例の一部改正について**  
 マイナンバーカードの普及促進に向けて、コンビニエンスストア等でマイナンバーカードを利用して交付する住民票の写し等各種証明書の交付手数料を減額するため、条例の一部を改正するものです。

## 市会案(議員提出議案)

**○福井市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について**  
 国家公務員及び福井県職員に対する期末手当に関する勧告の状況等を考慮し、議員の期末手当の額を改定するものです。



人事案件

○固定資産評価審査委員会委員

令和4年12月21日をもって任期満了となる勝田輝氏を引続き選任することに同意しました。

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介いたします。  
(委員会終了順に掲載)

決算特別委員会



〈水道事業会計〉

**問** 基幹管路の耐震に取り組んだとのことだが、その進捗状況は。また、どの程度の地震にまで耐えられるようになるのか。

**答** 基幹管路の耐震管率は、令和3年度末で37・5%である。また、最も耐震性のある管を入れていたため、震度7程度の地震でも施設の機能に重大な影響を及ぼさないものとなっている。

**問** 耐震化を年間どの程度進め、いつ頃完了する計画なのか。

**答** 福井市水道ビジョン2020では、令和10年度に基幹管路の耐震管率50・6%を目標としている。年間約2%、全長195kmのうち年4、5kmずつ耐震化を実施する計画である。

福井の魅力発信  
対策特別委員会



〈一乗谷朝倉氏遺跡について〉

**問** 福井県観光連盟のアンケート調査をもとに、一乗谷における観光客の動向を調べたとのことだが、回答者があまりにも少ない。この結果をもとに分析することはいかなるものか。

**答** 観光客の動向調査と併せて携帯電話を所持する方を対象とした動態調査を行っており、これらの結果を兼ね合わせながら、様々な施策に反映させていきたい。

**問** この調査の結果から恐竜目的の観光客とお城目的の観光客がはっきりと分かれてしまっていることが分かるが、このことを解消するため今後どのように施策を推進していくつもりなのか。

**答** 北陸新幹線福井開業に当たり、北陸ステイナー

シオンキャンペーン等で県外から多くの観光客が訪れることを考えると、朝倉エリアにおいても夏休みなどの長期休暇を利用し、若者、特に子どもに喜んでもらえるような施策を打っていきたい。

**意見** 朝倉氏を観光に生かしていくには学術的に細部まで調べ上げ、バックボーンをきちんと確立した上でストーリー性を出していくことが重要である。

**要望** 行政視察で調査しただけのこともあって安易に観光などに結びつけるのではなく、人が住んでいた以上は歴史があり、また歴史はつながらないと面白くないものであることから、まずは一乗谷を中心とした朝倉氏に関係したヒト、モノ、コトについて調査を尽くし、すべて表に出してほしい。

総務委員会



〈旧統一教会と政治家との癒着の徹底解明を求め宗教法人の解散命令を請求することを求める請願書〉

**意見** 旧統一教会に関する様々な事案についてにはゆゆしき事態であると考えるが、既に文部科学省が対応に当たっていることに加え、被害者救済法

案についても、国会で審議され、成立に向けた流れができていくことから、あえて意見書を提出するまでもないとの意見や、被害者救済法で十分であり、それ以上のことを求めるのは信教の自由、政治活動の自由に反する要請であると考えられるため不採択とすべきとの意見があった。

建設委員会



〈工事請負契約の変更（東安居団地D棟新築工事）〉

**問** 物価上昇により請負代金を増額したとのことだが、何がどの程度上昇しているのか。

**答** 労務単価は全体で約2・5%、また、材料単価は全体で約12・5%上昇しており、具体的には木材が平均約18・7%、金属類が同じく約15%、コンクリート製品が同じく約10%、それぞれ上昇している。

**問** 増額は約4,400万円とかなり大きな金額であるが、これは受注者から提示された金額を審査し、妥当であると決定したもののか。

**答** 受注者からのインフレスライド請求に対し、市では、建設工事で使用する各種資材の価格や工事費などを財団法人建設物価調査会が毎月調査

し収録している「建設物価」などの刊行物を参考に、発注時と現時点での単価を比較し、どれだけ上昇しているかを確認した上で、設計変更し工事費を増額したものである。

教育民生委員会



〈マイナンバーカード取得促進事業〉

**問** 各種証明書交付のコンビニエンスストアでの交付率は現在どれぐらいなのか。コンビニ交付手数料の減額により、どのような効果を見込んでいるのか。

**答** 今年度は各種証明書交付全体の12・3%を見込んでいる。各種証明書のコンビニ交付数は年々増えており、今年度は昨年度のおおむね1・4倍となる見込みであり、その利便性の高さから今後も増え続けるものと思われる。また、マイナンバーカードの現在の交付率はマイナポイント事業などの複数の事業の組合せによる結果であることから、今後、コンビニ交付手数料を減額することのみをもってどれだけ交付率が上昇するのかを見込むのは困難である。しかしながら、全国の中核市のデータで見ると、コンビニ交付手数料を減額



している自治体のほうが減額していない自治体に比べて交付率が高いことから、本市においても交付率の向上につながるものと考えている。

経済企業委員会



令和4年度福井市競輪特別会計補正予算

問 コロナ禍におけるこの2、3年の車券売上げの推移はどうなっているのか。

答 令和元年度はコロナの影響を受け、開催中止や無観客開催という時期があり売上げは減少したが、令和2年度以降は右肩上がりの状況であり、現在はコロナ禍前を上回っている。

問 福井の選手が頑張っていることも売上げが増加している一つの要因であると考えられることから、これらの選手をもっとPRすべきではないのか。

答 選手のPRについては、主に競輪ファン向けに展開しているところであるが、今後、KEIRINグランプリなどの大きな大会で福井の選手が好成績を収めた際には、選手会とも協議を行い、さらなるPR事業の充実を図っていききたい。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を問うため、12月5日から7日までの3日間、25人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、( )内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

<p><b>① 見谷 喜代三 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 農林水産業について</li> <li>2 財政再建計画と第八次福井市総合計画並びに県都ランドデザインとの整合性について</li> </ol>	<p><b>⑨ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 居住人口の増加とその生活を支える為に必要な機能が整わない中心市街地 105ha と西武福井店の今後のゆくえについて</li> <li>2 マンションばかりが乱立する再開発事業で若者が魅力を感じるまちづくりとなるのかについて</li> <li>3 更地となった再開発事業用地が着工するまでの有効活用について</li> <li>4 再開発事業やにぎわい創生事業で生みだされるテナント数と出店希望者数のバランス及び行政の関わり方について</li> <li>5 県都まちなか再生ファンドについて</li> </ol>	<p><b>⑰ 今村 辰和 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 除雪対策について</li> <li>2 足羽川ダム建設に伴う地域振興策について</li> <li>3 地域の拠点づくり事業について</li> <li>4 コロナ感染症予防対策とインフルエンザ予防対策について</li> </ol>
<p><b>② 泉 和弥 (新政会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 来年度の予算編成方針について</li> <li>2 おもてなしの充実について</li> <li>3 少子・人口減少下における子育てと保育について</li> </ol>	<p><b>⑩ 田中 義乃 (新政会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 中小企業、小規模事業者を取り巻く状況について</li> <li>2 官民連携について</li> <li>3 まちなかに若者を呼び込む施策について</li> </ol>	<p><b>⑱ 片矢 修一 (市民クラブ)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 福井市国土強靱化地域計画について</li> <li>2 市街地再開発事業について</li> <li>3 ICTを活用した新「ふくチャリ」について</li> </ol>
<p><b>③ 寺島 恭也 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 まちづくりの現状と今後について</li> <li>2 教育からインバウンドへの取組について</li> <li>3 投票所の拡充と開票について</li> </ol>	<p><b>⑪ 榊原 光賀 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 福井市国土強靱化地域計画について</li> </ol>	<p><b>⑲ 近藤 實 (無所属)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 脱炭素先行地域への応募</li> <li>2 ふくい元気「買い福(回復)」キャンペーン事業</li> <li>3 アリーナ構想について</li> <li>4 水道料金、下水道使用料の減免</li> <li>5 令和3年度一般会計決算審査意見書</li> <li>6 令和3年度公営企業会計決算審査意見書</li> <li>7 下水道事業の経営状況</li> <li>8 令和5年度予算編成</li> <li>9 専決処分</li> </ol>
<p><b>④ 酒井 良樹 (市民クラブ)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 防犯カメラ設置補助事業について</li> <li>2 捕獲有害獣の処理について</li> <li>3 自治会運営活動について</li> <li>4 市民サービス向上のための職員体制について</li> </ol>	<p><b>⑫ 奥島 光晴 (新政会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 持続発展可能なまちづくりの一考察について(人口減歯止め、人口増加対策)</li> <li>2 園児の安全対策について</li> <li>3 小・中学生の不登校について</li> </ol>	<p><b>⑳ 岩佐 武彦 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新文化会館は本当に必要なのか</li> <li>2 遊具の維持管理について</li> <li>3 新幹線福井開業に伴う二次交通の整備について</li> </ol>
<p><b>⑤ 野嶋 祐記 (新政会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 中心市街地のにぎわいについて</li> <li>2 除雪計画について</li> </ol>	<p><b>⑬ 藤田 諭 (新政会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 道路、河川整備について</li> <li>2 鳥獣害対策について</li> <li>3 空き家対策について</li> </ol>	<p><b>㉑ 池上 優徳 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 持続可能な地域づくりについて</li> </ol>
<p><b>⑥ 菅生 敬一 (公明党)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 チラムネ福井コラボについて</li> <li>2 歩行者横断点減機について</li> <li>3 ふるさと納税について</li> <li>4 電気自動車の充電設備の整備について</li> </ol>	<p><b>⑭ 津田 かおり (公明党)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 送迎バスでの置き去り防止対策について</li> <li>2 今後の自治会の在り方について</li> <li>3 SDGsの身近な取組について</li> <li>4 本市の困窮者支援について</li> <li>5 9価HPVワクチンについて</li> </ol>	<p><b>㉒ 下畑 健二 (公明党)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 福井市国土強靱化地域計画(素案)について</li> <li>2 アリーナ基本構想の進捗状況について</li> <li>3 福井市のDX推進について</li> <li>4 出産・子育て応援事業について</li> </ol>
<p><b>⑦ 皆川 信正 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 アリーナ構想について</li> <li>2 花堂北から新木田交差点までの県道拡幅事業について</li> <li>3 来年度に向けた組織体制について</li> <li>4 防犯カメラ設置補助事業について</li> </ol>	<p><b>⑮ 山田 文葉 (日本共産党)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 介護保険制度の改悪について</li> <li>2 国民健康保険税について</li> <li>3 学校給食費の無償化について</li> <li>4 ジェンダー問題について</li> </ol>	<p><b>㉓ 石丸 浜夫 (新政会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 有害鳥獣対策について</li> <li>2 小・中学校の統合について</li> <li>3 国道の幅員について</li> <li>4 災害対策について</li> <li>5 観光対策について</li> </ol>
<p><b>⑧ 加藤 貞信 (新政会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 北陸新幹線と並行在来線について</li> <li>2 森田・河合両地区を校区とする新中学校の整備について</li> </ol>	<p><b>⑯ 青木 幹雄 (一真会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 国道8号、国道305号、国道416号等に関する道路行政について</li> <li>2 国語教育について</li> <li>3 自治会について</li> </ol>	<p><b>㉔ 伊藤 洋一 (新政会)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 インボイス制度に係る地域行事の広告代の問題について</li> </ol> <p><b>㉕ 玉村 正人 (市民クラブ)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校におけるDX推進について</li> <li>2 地域公共交通の利便性向上について</li> <li>3 JR福井駅東口について</li> </ol>

各議員の一般質問要旨は、9ページから13ページに掲載しています。



一般質問要旨

みたに きよぞう  
見谷 喜代三 議員  
一真会

農林水産業について

質問

大規模・小規模農家がそれぞれ役割で地域農業を営むことにより、農地や農村が維持、活性化され、未曾有の災害にも適応するなど、持続力を発揮する姿が未来へと引き継ぐべき農業の将来像ではないかと考える。本市の農林水産業の現状をどのように捉えるのか、どのような将来像を描いているのか。

回答

農林水産業従事者の減少や高齢化が進んでおり、深刻な状況であると認識している。持続的な農林水産業の発展を実現するため、農業においては、第2次福井市農業活性化プランに掲げる流通販路の開拓やスマート農業の推進などの取組を進めていく。また、林業においては、森林環境譲与税やスマート林業などの新技術を活用し、木材生産だけでなく山地災害防止といった多面的機能が高度に発揮されるよう森林整備を進めていく。漁業においては、地産地消や魚食普及、地元水産物の販売力強化などにより、稼げる産業への転換を目指していく。今後も現場の声を大切にしつつ環境の変化に対応した様々な施策を実施することで持続的な農林水産業の発展につなげていく。

いずみ かずや  
泉 和弥 議員  
新政会

保育施設の人材確保について

質問

厚生労働省の「子ども・子育て支援推進調査研究全国調査結果」と同様、本市も新規採用、途中採用ともに人材確保が難しくなっている。保育士配置基準の見直しも必要だが、保育士・幼稚園教諭資格を持った人材の育成・確保にもっと積極的に取り組むべきではないか。

回答

県内には、保育士養成機関が3施設あり、毎年度180人程度の有資格者を輩出している。福井県保育人材センターでは、できるだけ多くの人材を保育現場に送り出せるよう働きかけるとともに、県外の養成機関に対しても積極的な働きかけを行っている。加えて、現在保育園等で働いている保育士の不安や迷いなど様々な相談に応じることで、保育士の離職防止等にも取り組んでいる。また、愛女子短期大学と毎年協働で開催している保育研究合同発表会をユニークな等で発信することで、養成機関の学生等が保育現場に魅力を持てるようにすることも、現職保育士のレベルアップも図っている。

てらしま きょうや  
寺島 恭也 議員  
一真会

まちづくりの現状と今後について

質問

一般的に住民の皆様は、直接的な生活の利便性の向上を求めるが、中心市街地の活性化がもたらす主な効果について伺う。また、例えば、30年以上前に計画された、高木灯明寺線等の着手さえ見えていないが、周辺部や郊外部での具体的なまちづくりの施策はどうなっているのか。

回答

駅周辺で進めている再開発をはじめとした各種事業等は、交流人口の拡大や経済波及効果、税収の増加など、高い投資効果があると認識している。これに併せて、周辺部、郊外部における地域拠点の形成に向けた各種取組を進め、中心市街地と地域拠点を公共交通ネットワークにより有機的に結ぶことで、中心市街地の活性化の効果が福井市全体にもたらされるものと考えている。都市計画道路については様々な理由により未着手となっているものもあるが、社会情勢の変化を踏まえ、配置、構造等の見直しを行っていく。

さかい よしき  
酒井 良樹 議員  
市民クラブ

防犯カメラ設置補助事業について

質問

防犯カメラは、犯罪行為の抑止力や状況の把握、犯人逮捕や事件の早期解決に有効なものだが、防犯カメラ設置補助事業の実績、また来年度以降、設置を希望・検討している地区数と台数は、加えて、来年度以降、本事業はどのようになるのか。

回答

実績については本年度設置予定のものを含め市内13地区44台であり、これまでにいただいた要望については年度内に全て設置が完了する。また、来年度以降、設置の意向を示している地区は、検討中を含め35地区1300自治会であり、その台数は1自治会あたり1台から10台となっている。

防犯カメラの設置については、プライバシー保護の観点から慎重に対応する必要があるが、安全で安心なまちづくりの実現に寄与するものと認識している。本事業は県の補助事業を活用して実施していることから、引き続き県に対して事業継続の要望を行い、実施できるように努めていく。

のじま ゆうき  
野嶋 祐記 議員  
新政会

除雪計画について

質問

今年度の道路除雪計画について昨年度からの改善点は、また、以前から指摘されているオペレーターの人材確保、技術の向上及び、県道等の作業に影響を及ぼさない体制づくりなどのように取り組むのか。

回答

初期対応の改善として、除雪協力企業が除雪出勤基準に基づいて自ら判断し除雪作業を行う運用を、幾つかの地域、ブロックにて行うこととした。オペレーターについては、初めて道路除雪作業を行う者に対し、除雪機械技術講習会への参加を義務付けることで技術の向上を図っている。人員確保については、免許取得や技能講習に係る費用の補助制度の導入を検討する。

そのほか、福井土木事務所、福井地区建設業会、本市の3者で大雪時の検討を行い、優先的に除雪を行う路線や応援に入る除雪協力企業を決めておき、それらの路線の除雪作業を速やかに行える体制を整えている。





すごう けいいち

菅生 敬一 議員

公明党

チラムネ福井コラボについて

質問

福井市が舞台のライトノベル小説「千歳くんはラムネ瓶のなか」と福井市とのコラボが令和4年8月10月に行われた。このコラボに参加した人はどれくらいいて、他県からの来訪者はどれくらいだったのか。

また、このコラボ実施にかかる経済効果についてはどうだったのか。全体としてどのように評価しているのか。

回答

第2回コラボイベントでは、期間中に800名を超える方が参加した。県外からの参加者は約260名で、全体の約30%である。食事やグッズなどのイベント関係消費、宿泊交通費、観光消費やお土産などについてアンケートに答えていただいた方ももとに試算しただけでも約1,900万円以上の経済効果があったと捉えている。

コラボ全体を通して、全国のチラムネファンに福井へお越しただく動機となったほか、県外客のうち首都圏からの参加者が約4分の1を占めており、北陸新幹線福井開業に向けて首都圏へのPR効果も高い事業であると評価している。



みなかわ のぶまさ

皆川 信正 議員

一真会

花堂北から新木田交差点までの県道拡幅事業について

質問

花堂北から新木田交差点までの県道拡幅事業は、都市計画変更の手続により、幅員を25mとするとのことだが、沿道住民からは「現状のまま4車線化を」と望む声が多い。現状のまま4車線化できないのか。

現状のまま4車線化を進めると、どのような弊害が生じるのか。

回答

交通量の増加や自転車歩行者空間の確保など社会情勢の変化に伴い、道路の安全性、円滑性を確保するため、国の基準である道路構造令に基づき幅員を拡幅する必要がある。現計画の幅員20mのまま4車線化した場合には、自転車歩行者道として必要な幅員確保や災害時における緊急車両などの通行を確保するため無電柱化ができない。

また、本事業の財源として、県は補助率2分の1の国の制度を活用したいと考えているが、そのためには都市計画の変更が必要となる。交通安全と災害対応のため、幅員を25mとすることを提案している。



かとう さだのぶ

加藤 貞信 議員

新政会

森田・河合両地区を校区とする新中学校の整備について

質問

森田・河合両地区を校区とする新中学校の校名や校章、校歌、制服は、誰が、いつ、どのように決めるのか。

回答

校名については、保護者代表、教職員代表、地域代表から成る校名検討委員会を立ち上げ、第1回の会議を行った。その中で、森田・河合両地区内にある小・中学校の児童・生徒と保護者、卒業生と教職員及び両地区にお住まいの方を対象に公募することとした。公募期間は令和4年12月21日から令和5年1月20日までとし、その結果を踏まえて検討委員会が校名案の選考を行い、今年度中に教育委員会において最終的な校名案を決定していく。

校章や校歌、制服などについても、来年度以降にそれぞれ委員会を設置するなどして、選考方法も含めて検討を始めていく。



ほりかわ ひでき

堀川 秀樹 議員

市民クラブ

居住人口の増加とその生活を支えるために必要な機能が整わない中心市街地105ヘクタールと西武福井店の今後について

質問

西武百貨店の売却により西武福井店の行方が見えなくなってきたため、最悪の事態を想定しながら先んじて手を打たなければならぬ。杉本知事は売却先に事業の継続を働きかけるとし、直接出ていく意向である。県都福井市の市長として知事に同行して知事以上の熱意をぶつけるべき。

回答

売却先のファンド側に評価いただけるような状況をつくるため、まずは西武福井店と連携し、しっかりと営業面での結果を出していくことが重要と考えている。

ファンド側への存続要請に関しては、そごう・西武の意向等を確認した上で、県と連携しながら機会を逸することなく対応を検討していく。

杉本知事からは直接聞いていないが、そういうことがあれば我々も一緒に行く。また、そういう動きをつくれるならばつくりたいと思っている。



たなか よしのり

田中 義乃 議員

新政会

中小企業のDX推進について

質問

中小企業、小規模事業者においては、今後の多様なリスクから、厳しい経営環境が続くと予想される中、業務の効率化や生産性向上を進めるには、どうしてもDXの推進が必要となる。しかし、DXの推進には高いハードルがあることから、導入のための支援策を伺う。

回答

DXの導入には、デジタル化に対応できる人材の確保が大きな課題であると認識しているため、本市ではDXを用いた経営課題の解決方法を学ぶ「ふくい企業価値向上人財育成研修会」を開催し、中小企業におけるDXの人材育成を推進している。

また、中小企業にとっては、社内で取り組まれているアナログ業務をデジタル化するなど、身近な部分から少しずつ順に置き換えていくことが、進めやすいDXの導入だと考える。そのため、今年度から新たに専門家の派遣や設備導入の支援を行っている。今後も、積極的にDX導入への支援を続けていく。



福井市国土強靱化地域計画について



さかきばら みつよし  
**神原 光賀** 議員  
一真会

質問

いかなる災害が起こっても機能不全に陥らず、いつでも元気であり続ける「強靱な地域」を作り上げるため、平成30年に本計画を策定した。来年度の改定に向けて取り組んでいるが、これまでの成果や現状、また今後の取組について

回答

本市では、本計画に基づき、公共施設等の耐震化や道路整備など、災害に強い都市基盤を築き上げるための各種施策に取り組んできた。令和4年度の主な取組として、川西国道線の整備や環状西線と県道福井丸岡線との交差点の改良、新明里橋の耐震補強、開発川や鷺塚川などの浸水常襲地区の河川改修などを進めている。

今後は、流域治水の推進、大規模盛土造成地の安全対策の推進、適切な避難行動及び避難所運営といった取組を着実に推進することで、安全・安心で強靱なまちづくりをしっかりと進めていく。

園児の安全対策について



おくしま みつはる  
**奥島 光晴** 議員  
新政会

質問

国は令和4年10月12日、通園バス置き去り死事件を受け、通園バスに安全装置の設置を義務化する方針を決定した。専門家は「保育の質向上や、園児の安全を担保するには、職員の負担軽減、多忙解消を図らなければならない。そのためには保育士の配置基準を見直す必要がある」と訴えているが、見解を伺う。

回答

保育園等の職員配置基準については、教育・保育の質の向上に資する重要な課題と認識しており、県の補助事業を活用し、0歳児から2歳児の担当保育士を基準より増員配置した場合の人員費を補助している。

しかし、職員配置については、公定価格等で国が適切に対応すべきものであり、これまでも国に対して要望してきたところである。今後も適切な措置が講じられるよう、引き続き要望していく。

道路、河川整備について



ふじた さとし  
**藤田 諭** 議員  
新政会

質問

福井市の令和4年度重要要望書の中で特別重要要望に上げられている、一般県道清水麻生津線の(仮称)新日野川橋の建設事業化については、現在、事業化検討とのことだが、進捗状況と対応状況について伺う。

回答

(仮称)新日野川橋の事業化については、合併後の平成18年度から本市の重要要望として、国・県に対し要望してきた。しかし、県の事業化に向けた動きがなかなか見えないことから、令和2年度から本市の特別重要要望として要望している。

現在、県では令和3年10月に策定した道路整備プログラムにおいて、(仮称)新日野川橋を含む区間を事業化検討箇所として位置づけ、今年度は地質調査を実施するなど、事業化に向けた具体的な検討を進めているところである。

引き続き、1日も早く事業化されるよう、本市としても強く要望していく。

送迎バスでの置き去り防止対策について



つだ かつり  
**津田 かつり** 議員  
公明党

質問

静岡県牧之原市での置き去り事故を受け、悲しい事故を起こさないための今後の対策と、送迎バスを使用する園数及びバスの台数について伺う。また、園での事故につながる「かねないヒヤリ・ハット」の事例を各園で共有する取組について本市の所見を伺う。

回答

本市では、34の私立園が54台の車両を運行している。9月の事故を受け、バス送迎に当たっての安全管理に関連する実地調査を行い、あわせて職員研修の実施についても助言しているところであるが、今後は市が毎年実施する指導監査において、バスの安全管理に関する内容を監査項目に新たに追加して指導することで、子どもが安全に教育・保育を受けられるよう努めていく。

また、「ヒヤリ・ハット」事例の共有については、各園で事例ごとの原因を究明し、その後の対策を職員間で共有しているところであるが、今後は国が全国の事例を取りまとめ、情報提供する予定であるため、各園に対して積極的に活用するよう働きかけていく。

10億円も余らせた国保税は引下げを



やまだ ふみは  
**山田 文葉** 議員  
日本共産党

質問

国民健康保険の被保険者は年金生活者・非正規雇用労働者など、年収200万円以下の世帯が大半を占めている。にもかかわらず、協会けんぽなどと比べて保険税は倍以上高くなっている。昨年度の国保会計は10億円以上も余らせた。来年度の国保税額は、剰余金を勘案し、高すぎる国保税を引き下げるべきと考えるがどうか。

回答

国民健康保険については、国保会計の単年度収支の均衡を保つよう、毎年度県が示す標準保険料を参考に適切な保険税率を設定することが基本であると考えている。

現在、被保険者数が年々減少している中、医療の高度化や高齢化の進展などにより、1人当たりの医療費が増加していくことが想定される。

今後の保険税率の設定に当たっては、本市の国保会計の状況を踏まえ、また被保険者の負担を考慮しながら慎重に判断していく。





あおき みきお  
**青木 幹雄** 議員  
一真会

自治会について

質問

自治会への加入促進に取り組んでいるが、まちなかや周辺部の自治会にはどのような課題があるのか。  
また、自治会を解散させないために、どのような取組を実施しているのか。

回答

まちなかについては、自治会区域が比較的小さいことから、会員が少なく運営基盤が弱い自治会が多いことが課題として挙げられる。周辺部については、集会所などが自治会が管理する財産等が多く、それに係る人手や費用負担が大きいこと、自治会区域が比較的広いことから草刈りや雪かきなどの環境整備に対する作業負担が大きいことなどが挙げられる。  
また、本市では平成31年に2つの自治会が解散して以降、自治会加入や自治会合併の促進、特定集落支援員の配置に力を入れ、同様の事態に至らないよう取り組んでいる。



いむら しんかず  
**今村 辰和** 議員  
一真会

地域の拠点づくり事業について

質問

令和4年7月と11月に、地域の拠点づくり事業として美山公民館前で「美山ワクワワ市」が開催された。利用者からこれからのような事業を多く開催するとともに、開催の時期や時間についても考慮してほしいとの要望があったが、今後この事業をどのように進めていくのか。

回答

本市では、日常生活に必要な機能が集積し、公共交通の拠点と連携した13か所を地域の拠点として位置づけている。そのうち美山、越廼地区では郊外型の地域拠点の在り方を検証するため、地域の拠点づくり事業に取り組んでいる。  
今年度は社会実験として、スパー等に代わり日常の買物ができる場として県民生活協の移動販売車などを設置したほか、トヨタカローラ福井から提供を受けた車両によるデマンド方式の送迎、NTT西日本のスマホ教室などを実施した。  
今後は社会実験で連携した企業とともに評価を行い、地元で活動する団体と協働し地域の拠点づくりを進めていく。



かたや しゅういち  
**片矢 修一** 議員  
市民クラブ

ICTを活用した新「ふくチャリ」について

質問

令和5年3月に新しくなる新「ふくチャリ」は、現在の「ふくチャリ」とどのように変わり、利便性はどのように高まるのか。また、専用アプリは全国で使用できるようだが、使用できるエリアはどれぐらいあるのか。

回答

現在の「ふくチャリ」は貸出し状況の把握が困難であることや、キャッシュレス等の対応が施設によって異なることから、利用者から改善の要望があった。  
ICT技術を活用することで、予約・貸出し・返却・料金の支払いまでの一連の操作が、24時間スマートフォンアプリ上で行えるようになる等、利用者からの改善の要望に対応していく。  
また、本市が導入するシェアサイクルシステムと共通のアプリを使用できるエリアは、令和4年10月末時点で、全国39エリアとなっている。



こんどう みおる  
**近藤 實** 議員  
無所属

水道料金、下水道使用料の減免について

質問

昨今、物価の高騰が続いており、市民生活に大きな支障をきたしている。水道料金、下水道使用料の減免を行ってはどうか。  
減免額は、各事業ごとに、令和4年度、令和5年度それぞれ2億円（総額8億円）程度であれば経営的に問題は無いと考える。

回答

単純に計算すると1人当たり3,100円、世帯当たり7,500円ほどの減免が可能と考えるが、本市の所見を伺う。  
水道料金の一律減免に当たっては、民営簡易水道や井口水を使用し、上水道を使用していない場合や、集合住宅では入居者と企業が直接給水契約をしていない場合があるなど、公平に支援できないという課題がある。また、下水道使用料の減免についても、未普及区域や浄化槽区域があり、同様の課題があるため、水道料金等の減免については実施が困難であると考えている。



いわさ たけひこ  
**岩佐 武彦** 議員  
一真会

市内観光地をつなぐ周遊バスの運行について

質問

北陸新幹線福井開業を控え、福井駅へ降り立った観光客のために、駅周辺の養浩館庭園、柴田神社、足羽山等の市内観光地をつなぐ市内周遊バスを運行すべきだと考えるが、本市の所見は。

回答

北陸新幹線福井開業による観光客の増加を見据え、容易に主要観光スポットを巡ることができると分かったり、すぐ情報提供していくことが求められており、実証実験中の「ふくいMaas」において、交通手段と公共施設入場券や食事などがセットとなった、周遊観光ができるフリーパスの販売などを行っている。  
また、路線バスやタクシー、レンタサイクル等の既存の移動手段なども併せ、観光周遊バスの必要性等について交通事業者などと協議を進めており、今後も適切な移動手段の在り方を検討していく。





いけがみ まさのり  
**池上 優徳** 議員  
一真会

**持続可能な地域づくりについて**

**質問**

過疎集落となっている地域の地域産業、特に農林水産業の衰退がそのまま地域の現状となって閉塞感にさいなまれている。福井駅周辺や市街地と同様に行政の大きな支援が必要と考えるが、過疎地域の経済対策や産業支援について、市長はどのように考えているのか。

**回答**

本市の過疎地域は、中山間地域や海岸部に集中している。中山間地域や海岸部などの主要な産業となっている農林水産業については、経営基盤の強化やスマート農業の推進、農林水産物のブランド力の強化などにより、稼げる農林水産業を実現し、新たな雇用の創出を目指している。さらに、中山間地域や過疎地域等の活性化、地域のコミュニティの維持・活性化を図るために、集落支援員の配置や地域おこし協力隊の活用なども行っている。これらの事業を進めることで、過疎地域の支援に努めていく。



しもばた けんじ  
**下畑 健二** 議員  
公明党

**電子回覧板導入自治会への補助について**

**質問**

自治会で回覧する文書の電子化については、既にLINEを活用している自治会があるが、電子回覧板導入に対する本市の見解を伺いたい。

**回答**

令和4年7月に全自治会にアンケート調査を行った結果15の自治会が今年度又は来年度以降に、日頃から多くの方が利用しているLINEなどの無料サービスを利用してデジタル化の導入を予定しているとの回答があった。一方、情報発信用のパソコンなどの備品購入について支援の要望があったことから、県の制度を活用し補助を行うこととした。また、検討していない自治会への啓発のため、自治会連合会長などに対し、補助制度の説明を含めたデジタル化についての研修会を開催している。今後は、補助制度の活用を呼び掛けるとともに、自治会連合会や自治会長と意見交換を行いながら、本市の自治会のデジタル化の底上げを図っていききたい。



いしまる はまお  
**石丸 浜夫** 議員  
新政会

**国道の幅員について**

**質問**

いよいよ北陸新幹線福井開業や中部縦貫自動車道全線開通が間近となってきたが、国道305号は道路幅員が狭いため、大型バス同士の擦れ違いが困難なところが多い。そのため、運転者から景色が素晴らしい越前海岸に行くにも大変であるとの声を聞く。国道は県の管理道路ではあるが、拡幅について市としてもっと強く要望していただきたいがどうか。

**回答**

現在、本市を走る国道305号の道路幅員は、最も狭い箇所では5・6mしかなく、さらに沿道には家屋が連立しているため、大型観光バスや貨物自動車同士の擦れ違いは非常に困難である。本市としても、拡幅について道路管理者である県に強く要望していく。



いとう よういち  
**伊藤 洋一** 議員  
新政会

**インボイス制度に係る地域行事の広告代の問題について**

**質問**

令和5年10月のインボイス制度施行後、課税事業者が免税事業者との取引を行わなくなる可能性がある。そうなる場合、地域行事において重要な財源である協賛企業からの広告収入への影響が懸念されるが、本市の所見を伺う。

**回答**

地域行事は、地元企業などからパンフレットへの広告掲載を前提とした協賛金を大きな収入源としている。現在は、多くの企業が協賛金を広告料として取扱い、消費税分を仕入税額として控除し、申告を行っている。しかし、インボイス制度開始後は、これら地域団体がインボイス登録をしていない場合、消費税の仕入税額控除が受けられないことになり、地域行事の協賛金にも影響を与える可能性がある。本市としては、企業、地域団体それぞれにインボイス制度を理解していただいた上で、健全な地域コミュニティの維持という趣旨を踏まえ、地域行事への対応をお願いしたいと考えている。



たまむら まさと  
**玉村 正人** 議員  
市民クラブ

**JR福井駅東口（一乗谷口）はどうなるか？**

**質問**

JR福井駅東口の愛称（一乗谷口）を来福者に印象付ける取組が必要ではないか。そのほかに、令和4年9月定例会において指摘した全教職員へのタブレット配備については、どのように検討が進んでいるのか。

**回答**

現在、西口から一乗谷行きの路線バスが1日8便運行されているが、北陸新幹線福井開業後は、公共交通を利用する観光客が大幅に増加することが見込まれることから、より分かりやすく利便性の高い直行バスを東口（一乗谷口）から運行することについて、京福バスと協議を重ねている。今後も、引き続き東口を一乗谷口として印象つける取組について検討していきたい。また、タブレットについては、全ての小・中学校の保有状況を再度精査し、また新規購入分の配布台数を調整することで、全教職員にタブレットを配備できると考えている。



(12月定例会)		議案等の審議結果		
議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は15頁に掲載)
第 59 号議案	令和 3 年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	11月28日	認定	●
第 60 号議案	令和 3 年度福井市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	//	可決及び認定	●
第 61 号議案	令和 3 年度福井市簡易水道事業会計決算の認定について	//	認定	
第 62 号議案	令和 3 年度福井市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	//	可決及び認定	●
第 65 号議案	令和 4 年度福井市一般会計補正予算	12月15日	原案可決	●
第 66 号議案	令和 4 年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	//	//	
第 67 号議案	令和 4 年度福井市後期高齢者医療特別会計補正予算	//	//	
第 68 号議案	令和 4 年度福井市介護保険特別会計補正予算	//	//	
第 69 号議案	令和 4 年度福井市競輪特別会計補正予算	//	//	
第 70 号議案	令和 4 年度福井市宅地造成特別会計補正予算	//	//	
第 71 号議案	令和 4 年度福井市中央卸売市場特別会計補正予算	//	//	
第 72 号議案	令和 4 年度福井市集落排水特別会計補正予算	//	//	
第 73 号議案	令和 4 年度福井市地域生活排水特別会計補正予算	//	//	
第 74 号議案	令和 4 年度福井市水道事業会計補正予算	//	//	●
第 75 号議案	令和 4 年度福井市簡易水道事業会計補正予算	//	//	
第 76 号議案	令和 4 年度福井市下水道事業会計補正予算	//	//	
第 77 号議案	集落排水事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	//	//	
第 78 号議案	福井市職員の給与に関する条例及び福井市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	//	//	
第 79 号議案	福井市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について	//	//	●
第 80 号議案	福井市手数料徴収条例の一部改正について	//	//	●
第 81 号議案	福井市体育施設条例の一部改正について	//	//	●
第 82 号議案	福井市農業委員会に関する条例及び福井市非常勤の特別職職員の報酬等に関する条例の一部改正について	//	//	
第 83 号議案	福井市 S S T らんどの設置及び管理に関する条例の廃止について	//	//	●
第 84 号議案	福井市リズムの森の設置及び管理に関する条例の廃止について	//	//	●
第 85 号議案	工事請負契約の締結について (中央卸売市場卸売棟屋上改修工事)	//	//	
第 86 号議案	工事請負契約の変更について (北陸新幹線福井駅(東口)拡張施設新築工事)	//	//	
第 87 号議案	工事請負契約の変更について (東安居団地D棟新築工事)	//	//	
第 88 号議案	福井市美山楽く楽く亭の指定管理者の指定について	//	//	●
第 89 号議案	令和 4 年度福井市一般会計補正予算	//	//	
第 90 号議案	工事請負契約の締結について ((仮称)福井市フットボールセンターグラウンド整備工事)	//	//	
第 91 号議案	令和 4 年度福井市一般会計補正予算	//	//	●
第 92 号議案	固定資産評価審査委員会委員の選任について	//	同意	
第 39 号報告	専決処分の承認を求めることについて (令和 4 年度福井市一般会計補正予算)	//	承認	
第 40 号報告	専決処分の承認を求めることについて (令和 4 年度福井市一般会計補正予算)	//	//	
第 41 号報告	弾力条項適用の報告について (令和 4 年度福井市競輪特別会計)	11月28日	受理	
第 42 号報告	専決処分の報告について (和解及び損害賠償額の決定について)	//	//	
第 43 号報告	専決処分の報告について (市営住宅の使用料等の支払請求及び明渡請求に係る訴えの提起について)	//	//	
市会案第18号	福井市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	12月15日	原案可決	●



# (12月定例会) 請願・陳情の審議結果

請願・陳情番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
請願第 14 号	「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める請願書	12月15日	不採択	●
請願第 15 号	旧統一教会と政治家との癒着の徹底解明を求め宗教法人の解散命令を請求することを求める請願書	//	//	●
陳情第 15 号	直ちに特急乗り入れ工事を中止し、北陸新幹線が大阪へ延伸するまで、特急「サンダーバード」「しらさぎ」を、現行のまま存続させるよう、国に対する意見書を提出することを求める陳情	//	//	●
陳情第 16 号	最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める陳情書	//	//	●

## 賛否が分かれた議案等一覧

賛…賛成 反…反対

※原則議長（堀江廣海）は採決に加わりません。

会派名 議員名	審議 結果	一真会											新政会					市民クラブ				公明党		日本共産党		無所属								
		皆川 信正	見谷 喜代三	青木 幹雄	今村 辰和	堀江 廣海	八田 一以	福野 大輔	池上 優徳	水島 秀晃	寺島 恭也	榎原 光賀	岩佐 武彦	加藤 貞信	石丸 浜夫	野嶋 祐記	奥島 光晴	田中 義乃	藤田 諭	泉 和弥	伊藤 洋一	堀川 秀樹	玉村 正人	片矢 修一	村田 耕一	酒井 良樹	下畑 健二	菅生 敬一	津田 かおり	鈴木 正樹	山田 文葉	中村 綾菜	近藤 實	
12月定例会																																		
第 59 号議案	認定	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	反
第 60 号議案	可決及び 認定	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 62 号議案	可決及び 認定	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	反
第 65 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 74 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 79 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 80 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 81 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 83 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 84 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 88 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第 91 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
市会案第18号	原案可決	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
請願第 14 号	不採択	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	賛
請願第 15 号	不採択	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
陳情第 15 号	不採択	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
陳情第 16 号	不採択	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛



### 議長の動静(令和4年10月~12月)

10月13日	福井県市議会議長会 中央要望活動(東京都)
26日	北信越市議会議長会 理事会、評議員会(石川県)
11月2日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 議会運営等懇話会(あわら市)
4日	福井県市町総合事務組合議会 定例会
	福井県自治会館組合議会 定例会
	福井県後期高齢者医療広域連合議会 定例会
7日	福井県市議会議長会 議員研修会(オンライン開催)
9日	全国市議会議長会 理事会・評議員会合同会議(東京都)
14日	都道府県庁所在都市議長会 定期総会(栃木県)
16日	北陸新幹線建設促進大会(東京都)

### 12月定例会

11月28日	本会議
29日	議会運営委員会
12月5日	本会議(一般質問)
6日	本会議(一般質問)
7日	議員全員協議会、本会議(一般質問)
8日	総務委員会、建設委員会
9日	教育民生委員会、経済企業委員会
13日	議会運営委員会
15日	議員全員協議会、本会議

### 定例会外の議会日程(令和4年10月~12月)

10月3日	決算特別委員会	11月10日	福井の魅力発信対策特別委員会
4日	決算特別委員会	21日	議会運営委員会、議員全員協議会
25日	議会運営委員会		

## 編集後記

先日、岩手県盛岡市議会、山形県山形市議会を訪問し、市議会だよりの編集について視察してまいりました。

両市議会は、中核市の市議会が加盟する中核市議会議長会の議会報コンクールにおいて、過去に最優秀賞を受賞しており、市民の方々にとって分かりやすい紙面づくりが評価されています。

視察では、親しみを持ってもらえるようなロゴタイトルや写真選びに始まり、本文中の難解な用語の解説や読みやすい行間の工夫、さらには編集委員の熱意のこもった特集記事など、多くの先進的な取組を学ぶことができました。

この見識を、今後のふくい市議会だよりの紙面づくりに生かしてまいりたいと思います。  
(野嶋、藤田)



[盛岡市議会] 広報委員会 大石仁雄委員長、加藤麻衣副委員長より説明を受ける。



[山形市議会] 議会報「みちしるべ」の最新号を例に、紙面づくりの工夫を伺う。

## 請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

## 傍聴してみませんか

### 傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

#### 傍聴をご希望される方へ

- ・感染状況によっては、傍聴数の制限をさせていただく場合があります。あらかじめホームページをご確認いただくか、下記までお問い合わせください。
- ・議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをお勧めします。

**本会議**

定員97人 うち車イス6席

**常任委員会**

総務、建設、教育民生、経済企業

**議会運営委員会**

**特別委員会**

福井の魅力発信対策、予算

**議員全員協議会**

今回は  
**3月定例会**  
です

日程は  
ホームページに  
掲載します

福井市議会 日程

検索

市議会HPIは  
こちらから



お問い合わせ 議会事務局 庶務課

**0776-20-5506**